		니쁘	用口凹				Cm) [[. Sale] [. San ale PPP	6.1.11									平成 2	8年3.	月 31 日
	り名称	1						と快適な水辺空間	の創出	-711.75		Life (creating the								
	D期間 D目標		平成22年	度 ~	平成26年	+度 (と	5年間)			交付対象	<u> </u>	横須賀市								
司四〇		- 444-44B LB	の部件ナイ		and a ho	an ±th ±til the	hohe de toda III	1 60.64 0.00 0.2	. HE ETT RAY J	[2] 보 구구 43	11b + +b/#:1	はなむいコか 問	* 4000 *** 1	as IM+hn →	501 ×					
	防波堤で	'物揚場	の整備を作	丁い小型	船たまり	の静穏度	等を催保	:し、船舶の安全な	保留等を	1凶る。また、緑	地を整備し	、快適な水辺空間	を創出し交流人口	の増加を	凶る。					
計画	iの成果目	標(定	量的指標)																	
	 横須賀 	港にお	ける小型船	凸だまり	- の係留施i	設の充足	率を65%	(H22) から100%	(H26) ^‡	拡大する。										
								97.5%(H26)へ改善 へと増加させる。	手する											
- 中 -				下切日数	Z 111, 000	17(11-15)	77,000	こと相加させる。					空县 的	14種の相	泊荷なが	日播店				
	定量的指標の定義及び算定式 定量的指標の現況値及び目標値 定量的指標の現況値 単間目標値 最終目標値 備考																			
	1																			
1			る小型船が																	
								十画延長/必要延士					65%	-	_	10	00%			
(2)	横須賀港	{におけ 波浪計		ごまりの!	稼働率を 9	92. 2% (H2:	2)から97	7.5%(H26)へ改善す	-る。				92. 2%		_	97.	. 5%			
3	浦賀地区	への年	間来訪者数	数 (H26) を	:標本調查	ここより質	章定する。													
													111,000人	-	-	177,	人000人			
	\ \L-\	t.	合	計	5507			55077H	D.	0.Z.Z.III	-	0.Z.Z.E	効果促進事	業費の割	合			0.00/		
3	と 体事業費	Ŧ.	(A + I	3+C)	570 E	百万円	Α	570百万円	В	0百万円	С	0百万円	C/ (A-	+B+C)				0.0%		
							-						-							
										事後割	任価									
			実施時期		1						-t- (/s 37 fm			1						
事後評価	iの実施体	制]						事後評価	の実施時期] ,						
ldts /ac trπ →	·	: /m-									/\ +	- N.L.		半成:	27年度					
横須賀市	の内部部	-1Ш									公表の方	法		<u>+</u>						
														市ホー	ムページ					
1 次付	対象事業	の進歩	 																	
交付対象		(V) (E-1994)	V(VL																	
A1 港	弯事業																			
番号	事業	地域	交付	直接	事業者	港湾	省略		となる事			事業内容	港湾・地区名		事業実	施期間((年度)		全体事業費	備考
	種別	種別	対象	間接	于人口	種別	工種		(事業箇所			長・面積等)	.=., -, ,	H22	H23	H24	H25	H26	(百万円)	
A-1	港湾	内地	横須賀市	直接	_	重要		小型船だまり整備事			延長 L=60		横須賀港 (走水・大津地区)							継続
A-2	港湾	内地	横須賀市	直接	_	重要	建設	小型船だまり整備事				.5m、延長 L=20m	横須賀港 (走水・大津地区)							継続
A-3	港湾	内地	横須賀市	直接	_	重要	建設	小型船だまり整備事		去	撤去延長		横須賀港 (走水・大津地区)						31. 2	
A-4	港湾	内地	横須賀市	直接	_	重要	建設	小型船だまり整備事			延長 L=70		横須賀港 (走水・大津地区)							継続
A-5	港湾	内地	横須賀市		_	重要	建設	小型船だまり整備事				0m、面積A=4,600㎡	横須賀港 (走水・大津地区)							継続
A-6	港湾	内地	横須賀市	直接	_	重要	建設	小型船だまり整備事			延長 L=80		横須賀港 (走水・大津地区)							継続
A-7	港湾	内地	横須賀市		_	重要	建設	小型船だまり整備事	業防波堤-	· 5	延長 L=10		横須賀港 (走水・大津地区)						121.7	
A-8	港湾	内地	横須賀市	直接	_	重要	建設	緑地整備			面積A=10,		横須賀港(浦賀地区)			• • • • • •			339. 0	
A-9	港湾	内地	横須賀市	直接	_	重要	建設	小型船だまり整備事	業防波堤-	- 6	延長 L=50	m	横須賀港 (走水・大津地区)		1	/ N.H. Naha _ L	4 MG)			継続
															小計	(港湾事	来)		570	
D 887±	:41 人 次 工	· ** /* **	Mr-	ı												合計			570	
5.41.4	社会資本事業	整備事:	美 交付	直接		名	ì略			A MIC. 6a	1	事業内容	市町村名		事業宝	施期間((年度)		全体事業費	備考
番号	番号 事業 地域 交付 直接 事業者 工種 要素となる事業名 事業が各 市内村名 事業を施別間(午度) 全体事業費 浦・ (延長・面積等) 港湾・地区名 H22 H23 H24 H25 H26 (百万円)							VIII - J												
	合計																			
番号	一体的に	実施す	ることによ	より期待	される効	果														備考
	.,		2,-0	, , , , , ,	. 32 //4/															1
	•																			

C 効果	具促進事業																	
番号	事業	地域	交付	交付	交付	直接	事業者	省略	要素となる事業名	事業内容	市町村名		事業実	施期間	施期間(年度)			備考
ш.7	種別	種別	対象	間接	7.70	工種	Z, N. C. S. O. F. A. O.	于 X11/1	港湾・地区名	H22	H23	H24	H25	H26	(百万円)			
								l				合計						
番号	一体的に	宝施する	S- レに 1	- り期待:	される効果	Ł										備考		
ш.7	PT-HJ1C	- 	7 1 - 3	7 7 791111	- 4 U - D //J/	N										nu . 2		
**\\.\\.\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	在本米)。	-11.	1	- 42)4 /mm	ロロケック シー	レに記載すること												

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況

指標①:平成26年度までに対象施設の整備が完了しなかったことから、効果は未発現。

指標②:平成26年度までに対象施設である防波堤の整備が進められ静穏度が向上した。(暫定的な延長・断面であるため定量的な効果については不明)

指標③:平成26年度までに緑地の整備が完了せず、供用開始していないことから、効果は未発現。

I	定量	的指標	の達成	状況	

指標①(小型船 だまりの係留施	最終目標値	100%	目標値と実績値		
設の充足率)	最終実績値	65%	に差が出た要因		
指標②(小型船 だまりの稼働	最終目標値	97. 5%	目標値と実績値		
率)	最終実績値	92. 2%	に差が出た要因		
指標③(浦賀地 区への年間緑地	最終目標値	177,000人	目標値と実績値		
来訪者数)	最終実績値	111,000人	に差が出た要因		

・緊急性や即効性の高い事業を優先的に実施しており、目標を達成するための整備の進捗が図れなかっ た。

・利用者との調整に時間を要しているため、整備の進捗が遅くなった。

・港湾施設の整備は下部工から上部工に向けて水平的に施工を進めるものであるが、上部工の整備まで 完了しないと所要の機能を発揮しないため、定量的指標の数値改善に至らなかった。

・土地所有者との調整に時間を要しているため、整備の進捗が遅くなった。 ・港湾施設の整備は下部工から上部工に向けて水平的に施工を進めるものであるが、緑地の整備まで

完了しないと所要の機能を発揮しないため、定量的指標の数値改善に至らなかった。

(必要に応じて記述)

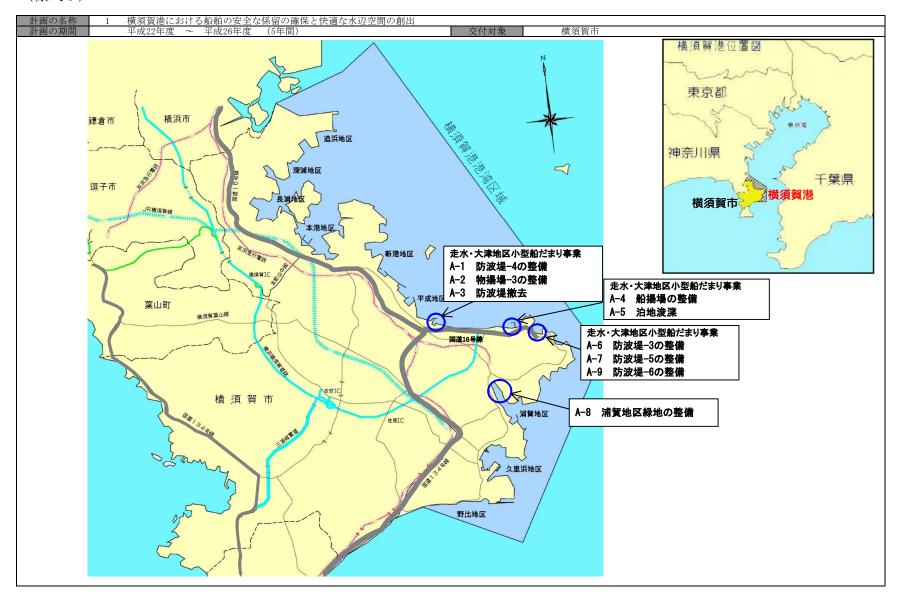
Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 ・波浪に対して安定性が確保されていない防波堤の安定性が向上した。

3. 特記事項(今後の方針等)

本整備計画の対象事業は、利用頻度の多い漁業用施設の安全かつ効率的な利用のための事業及び多くの人の来訪が見込まれる緑地整備事業であり、整備効果が高いため、 整備が完了していない事業は引き続き継続していくこととする。

ただし、市の財政状況や整備の優先度を勘案して要素事業を絞り込み、計画期間内に全ての要素事業が完了するような整備計画とする。

(様式3)



(様式3)

